

D

VOL. 41

Wing

ディー・ウイング

この人に
聞く!

第24回 お仕事の **ヒント**

オンラインで
効果的に
求職者を獲得しよう!

第39回 **Care Point**

高齢者に役立つ
漢方薬を
もっと知っておこう



オンラインで効果的に 求職者を獲得しよう!

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、人材採用においてもWEBサイトでの広報やSNSの活用といったインターネットを利用した情報発信が活発になっています。それらが応募の増加につながり、自施設に合う人材の効果的な採用広報となるような発信の仕方について、介護・福祉事業者の採用・人事支援や採用力向上のためのプログラム開発などに取り組む、株式会社Blanketの野沢悠介さんにお話をうかがいました。

今後も採用活動のオンライン化は不可欠

完全にオンラインに「ゲームチェンジ」

「コロナ禍になって2年。求人活動はやはり変化しているのでしょうか」

介護業界に限らず、対面で直接会うことが難しくなっているため、若い世代ほどオンライン中心で求職活動をするようになっていきます。新卒採用では学生の8〜9割がオンライン説明会を希望します。これは3年前には考えられなかったことです。

「そうしたオンライン化に介護業界は対応できているのでしょうか」

なかなか対応しきれない、苦戦している介護事業者が多い印象です。オンラインになって大きく変わったのが「偶然の出会い」が減ったことです。以前なら合同説明会で偶然声をかけられたことでその事業者に関心を持つてくれることもありましたが、今は雇用側が積極的に情報発信しない限り、誰も採用できません。オンライン化に乗り遅れている事業者の中には、学生との出会いがほぼゼロになってしまったところもあります。

「オンライン化はもう避けては通れないですね」

オンラインを利用した採用活動はコロナ禍の前から広がっていたのですが、コロナ禍で一気に加速し、もう元には戻らないでしょう。完全に「ゲームチェンジ」です。今からでも遅くないので、広

報やPRをはじめとして採用活動も非接触型のオンラインにチェンジしていくことは、良い人材を確保するうえで必要不可欠だと思います。

「ターゲットを定め、求職者目線で」

「では採用広報で一番大事なことはなんですか」

まず「ターゲットをしっかりと定めること」だと思います。誰でもいいから来てほしいという姿勢では、発信者の個性や熱意は伝わりません。自施設が採りたいのはどういう人材か、その人材にどんなことを期待しているのか、施設側の方針を明確にしておきます。そのうえで、新卒でも中途採用でも応募者が感じるであろう新しい職場への不安や、就職するうえで重視する条件などを想定し、その疑問に答える形で発信内容を決めていく。つまり「求職者目線」で発信することが非常に大事です。

「求人メディアと」

「自社のホームページでの求人情報を両立」

「どんな媒体で発信していくのかもポイントになりますね」

今は介護系の求人メディアより一般の求人メディアのほうが最初にアクセスされやすい傾向にあります。ただし、ハローワークなどの求人情報では、文字

SNSで自施設の個性を発信しよう

「SNSは」

「緩やかなファン作り」

「SNSで情報発信する場合、どんなツールを使えばいいですか」

ユーザーが多いインスタグラム、ツイッター、ユーチューブ、フェイスブック、TikTokなどです。目指すゴールは求人ですが、まずはその施設を知ってもらうための「入口」ですね。中小事業者には、インスタグラムやツイッターを採用広報に使うと、うまくいっているところもあります。画像や動画を使って自施設の個性や特徴を伝えることは、とても効果があります。

「ある程度の求人結びつきますがあくまで「入口」ですから、ツイッターで直接応募してくる人はいないし、インスタグラムを始める前と後で応募数が劇的に増えることもありませぬ。つまり、SNSは何か別のメディアで関心を持った人にその事業所のことをもっと知ってもらうためのツールと心得てください。」

「ゴールまでは時間がかかりますね」「インスタを3カ月やっただけでフォロワーが増えないからやめる」では何の意味もありません。まずは自分たちを知ってもらう、「緩やかなファン作り」の

視点を持つことが大事で、採用を意識し過ぎると、かえってSNSは失敗します。自施設の雰囲気や魅力が伝わるような内容の作り方をすれば、おのずとファンは増えていきます。地道に半年ぐらいいつかり発信を続けると、「インスタを見て良かったので」というような声が聞かれるようになるでしょう。

自施設に合う人材の採用広報にSNSが力になるためには、発信側がぶれずに、そしてSNSに間違いなく伝えることなのですが、楽しんで発信を続けていくことが大切です(表)。

表 SNSを成功させるポイント

<p>ターゲットを意識して発信の方向性を定める</p> <ul style="list-style-type: none"> *誰に向けて何を発信するかを意識する。 *そうすることで発信に統一感が生まれ、そういう情報を欲しい人がフォローしてくれるようになる。 <p>例)学生に介護の現場を知ってもらうことを意識して、あまり知られていないような介護場面をいろいろ見せていく、など。</p>	<p>発信者が楽しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> *SNSが好きな人にSNS担当になってもらう。 *職場のみんなが撮影などを了解し、応援する。 *担当者が楽しく取り組める環境を作る。
	<p>継続する</p> <ul style="list-style-type: none"> *始めたらずめない。 *長期間更新が途絶えると逆にマイナスイメージになるので、定期的に情報を更新する。

情報が中心で、魅力の訴求が難しくなったり、どの企業も同じフォーマットで情報発信をするため、他社との差別化もしにくくなります。それでも、**求職者は気になった事業所があれば、間違いなくインターネットで検索してより詳しい情報を得ようとしています。**ですから、まず求職者が見るであろうメディアに求人情報を掲載し、同時に自社のホームページでも求人情報、施設の理念、職場の魅力などをより深く発信していく。この両方をバランスよく行うことが重要です。

「求人メディアとSNSをバランスよく活用」

「文字情報だけではダメですが」

文字情報だけではその施設が本当に伝えたい魅力が伝わりにくく、結果として求職者は給与や通勤のしやすさなどの条件で決めてしまいがちです。募集は出しているのに希望する人材が集まらないという施設は、こういうケースが多いです。逆に、ホームページやSNSでの情報発信は頑張っているのに応募がないケースもあり、この場合はその施設自体が知られていないためホームページやSNSにアクセスしてもらえていません。やはり求人メディアにおける情報発信と、SNSでの画像や動画を用いた魅力発信の両方をセットで使うのが効果的だと考えます。



Message

地域で求職者が多く見ているメディアに掲載しよう



野沢 悠介さん 株式会社Blanket 取締役

■即戦力となる経験者を採用したい場合は、転職理由を考えることです。職場の人間関係や職場の方針との相違など、様々な理由が想定できますので、求職者目線でマッチしそうな情報を発信します。

■また、地域性を意識することも大切です。多数の介護施設が乱立するエリアと、いくつかの施設で人材を奪い合うエリアでは、採用広報の有効な手段が違います。どんなメディアを見て転職活動をするのか、どんな情報が求められているかを踏まえて、その地域で多くの求職者が見ているメディアに有料でも掲載するとよいでしょう。

■他の事業所や別業界の企業はどんな形で発信しているかをリサーチするのも有効です。うまくいっているところは、何らかの狙い・戦略を持って情報発信しています。それをそのまま真似するのではなく、自分の事業所では何を発信するのか、狙いを定める参考にしましょう。

■初めてのSNSとして私がお勧めするのは、アカウント登録しなくても閲覧しやすく、投稿した画像や動画が一览できるインスタグラムやYoutubeです。施設のイベントや職員紹介をアップするなど、できることから始めてみて欲しいと思います。

高齢者に役立つ漢方薬をもっと知っておこう

【監修】

フローラ薬局&
恵比寿ファーマシー
薬剤師・薬学博士
篠原 久仁子



認知症のBPSDの陽性症状に漢方薬の抑肝散が用いられるなど、いま漢方薬は見直されて使用が広がっています。漢方薬を高齢者の健康や症状改善に、役立てるために、介護スタッフも知っておきたいポイントを、在宅医療にも詳しい薬剤師の篠原久仁子さんに教えていただきます。

漢方エキス製剤の服薬方法
昔は漢方薬というと生薬を煎じて飲んでいましたが、今では煎じた液を顆粒にした医療用漢方エキス製剤が主に処方されています。

●食前服用が難しいとき

医療用漢方エキス製剤の多くは、服薬方法が1日3回、食前の服用となっています。食後は、胃の中に胃酸が分泌されて酸性になるため、漢方薬の薬効成分の吸収が低下することがあるからです。食事30分前、あるいは食間（食後約2時間）が勧められます。ただし食前や食間の服薬が難しい場合や服薬を忘れる場合は、食後に服薬してもかまいません。



さやしびれ、こむら返りなどです。現在、保険診療で使われる医療用漢方エキス製剤は148種類あり、その約7割に甘草が含まれています。甘草を含む漢方薬を2種類以上飲んでいては、知らないうちに甘草を多くとっていることがあります。特に注意したいのは利尿薬を併用している場合で、低カリウム血症を起しやすくなります。定期的に血圧を測定し、足にむくみが生じていないかなどをチェックすることが大切です。

古くて新しい漢方薬

漢方薬は植物や鉱物、動物由来の生薬を原料とした薬で、長い歴史があります。一般的に漢方薬は、生薬の様々な成分が体全体に働きかけ、全身状態を整えて、症状を改善すると考えられています。

近年、漢方薬の有効性が科学的に検証されるようになり、よく知られているのが認知症の怒りや暴言に用いられる抑肝散や便秘、かぜ、食欲不振などに加えて、夏まけや食欲不振、元氣が出ないなどにも漢方薬が用いられることがあります。

漢方薬のよくある誤解

漢方薬はすぐには効かない、副作用はない、などと思われがちです。しかし、こむら返りに処方される芍薬甘草湯は服薬して5〜6分の速効性がありますし、認知症のBPSDに使われる抑肝散も1〜2週間で言動の変化が見られます。もちろん、慢性疾患で長期服薬が必要になる場合もあります。副作用については、漢方薬にも他の薬と同様に起こることがあります。したがって、介護スタッフや医療従事者が患者さんの症状や体調の変化などを確認して見守るなど、西洋薬と同様に対応することが大切です。

●入れ歯への対応

漢方エキス製剤は、白湯や水で飲むと入れ歯に顆粒がはさまって痛みや不快感が生じることがあります。その場合、少量の温湯に顆粒を溶かしてから飲みます。

漢方薬の副作用

漢方薬の副作用の一つとしてよく知られているのが、甘草（カンゾウ）の摂り過ぎによる低カリウム血症です。主な症状は、血圧上昇、むくみ、体重増加、手足のだる

加齢とともに腎機能が低下してきますが、漢方薬の多くは腎機能に影響を与えないため、腎機能が低下した人でも服薬できる漢方薬がいろいろあります。介護スタッフや医療従事者が、患者さんの症状の変化などを確認して見守るなど、通常の薬と同じように対応していくことが大切です。

介護者も知っておきたい 漢方薬のこと

◆漢方エキス製剤の溶かし方◆

- 水では顆粒が残るので、必ず温湯に溶かす（写真）
- 水に顆粒を入れて電子レンジで約10秒加熱し、そこにトロミを加えてもよい



水 温湯

【経管栄養の場合】

- 注入器に入れる量のお湯に顆粒を入れて約10分おき、注入器で吸い取ってよく攪拌（かくはん）して注入すると、チューブをつまらせない
- 漢方薬以外の薬もいっしょに溶かす場合は、胃や腸でゆっくり溶けて効果を長時間維持する錠剤などが含まれていないか、念のため薬剤師に確認しておく

◆漢方エキス製剤の味や香りが気になるときの服薬アイデア◆

- 服薬用ゼリーに混ぜる
 - 顆粒を溶かした液を氷にすると、味や香りが気にならなくなる
 - 顆粒をオブラートで包んだものを少量の水を入れたコップで約10秒ひたし、そのまま水といっしょに飲む*
- *参考：https://www.tsumura.co.jp/qa/kampo/fukuyaku/2.html

表 高齢者に用いられる漢方薬の例

漢方薬は、一人ひとりの体質、体力、抵抗力、体調や症状などを総合的に考慮して処方されますので、同じ症状でも異なる処方方や量の漢方薬が処方されることがあります

認知症（アルツハイマー型・レビー小体型・脳血管性）に伴う行動・心理症状のうち陽性症状（易怒・幻覚・妄想・昼夜逆転・興奮・暴言・暴力など）	*抑肝散（ヨクカンサン）* *抑肝散加陳皮半夏（ヨクサンカチンピハンゲ）
脳卒中・パーキンソン病による嚥下反射・咳反射の低下	*半夏厚朴湯（ハンゲコウボウトウ）*
脳卒中による慢性便秘	*大建中湯（ダイケンチュウトウ）*
逆流性食道炎	*半夏瀉心湯（ハンゲシャシントウ）*
慢性便秘、排便困難	*麻子仁丸（マシニンガン） *桃核承気湯（トウカクジョウキトウ） など
かぜ症候群	*葛根湯（カクコントウ） *桂枝湯（ケイシトウ） *麻杏甘石湯（マキョウカンセキトウ） など
慢性閉塞性肺疾患	*麦門冬湯（バクモンドウトウ） *柴朴湯（サイボクトウ） *小青竜湯（ショウセイリュウトウ） *補中益気湯（ホチュウエッキトウ） など
食欲不振	*六君子湯（リクンシントウ） など
脳卒中後遺症による手足のしびれ	*大柴胡湯（ダイサイコトウ） *黄連解毒湯（オウレンジドクトウ） *真武湯（シンブトウ） *当帰芍薬散（トウキシャクヤクサン） *補中益気湯（ホチュウエッキトウ） *牛車腎気丸（ゴシャジンキガン） など
こむら返り	*芍薬甘草湯（シャクヤクカンゾウトウ） *桂枝加朮附湯（ケイシカジュツブトウ） *牛車腎気丸（ゴシャジンキガン） *疎経活血湯（ソケイカクツトウ） など
全身倦怠感	*補中益気湯（ホチュウエッキトウ） *十全大補湯（ジュウゼンダイホトウ） *黄耆建中湯（オウギケンチュウトウ） *真武湯（シンブトウ） など
意欲低下	*十全大補湯（ジュウゼンダイホトウ） *人参養栄湯（ニンジンヨウエイトウ） *当帰芍薬散（トウキシャクヤクサン） など
夏まけ	*五苓散（ゴレイサン） *補中益気湯（ホチュウエッキトウ） *柴苓湯（サイレイトウ） *清暑益気湯（セイショエッキトウ） など

*：最近の臨床試験により有効性が認められています

介護の日Webセミナーを開催しました。

2021年の11月11日、Web開催としては2回目となる介護の日Dケアセミナーを開催しました。Web開催のメリットを活かして今年も全国から多くの皆様にご参加いただきました。

今回のテーマは「おむつかぶれを予防しよう!根拠に基づいた失禁ケア&スキンケア」。日本医科大学千葉北総病院の看護師長であり皮膚・排泄ケア特定認定看護師でもある渡辺光子さんにご講演いただきました。セミナーの内容については報告書としてまとめておりますので、ご覧になり



たい際は弊社担当までお問い合わせください。また、渡辺さんのお話にも出てくる「IAD(失禁関連皮膚炎)」については、白十字で「IAD 好発部位のケアに関するご提案」というパンフレットをご用意しています。そちらもぜひご活用ください。

たい際は弊社担当までお問い合わせください。

また、渡辺さんのお話にも出てくる「IAD(失禁関連皮膚炎)」については、白十字で「IAD 好発



部位のケアに関するご提案」というパンフレットをご用意しています。そちらもぜひご活用ください。



手伝いを求める介護施設と
手伝いたい人をつなぐマッチングサービス

Sketter スケッター

※スケッター利用のステップ※

- 1 「事業所の新規登録」をする
 - 事務局からメール連絡があるので指示に従う。
 - 介護事業所は定額でシステムを利用でき、紹介手数料は一切発生しない。
- 2 お手伝いの募集
 - 募集したいお手伝い内容を投稿する。(日程、手伝い内容、報酬など)
- 3 応募者の確認
 - 応募があったら、応募者を確認する
 - 応募者の過去のお手伝い実績や得意なジャンルもプロフィールから確認できる
 - 募集人数を上回る応募が来た場合は、最も適任だと思えるスケッターに依頼する
- 4 スケッターの受け入れ
 - 受け入れ日時、場所を再度確認し、担当者を決めておく
 - 当日は、スケッターに気持ち良く働いてもらえるように、スムーズな仕事の説明や実施を心掛ける

スケッター
<https://www.sketter.jp/about/>

●人材紹介や派遣に頼らない、地域の仲間集め

「介護の専門知識や資格がなくても関われる仕事だけを提供しているので、介護に興味があった人の最初の入り口にもなっています」と話すのは、スケッターを運営する(株)プラスロボ代表取締役CEOの鈴木亮平さん。誰もが誰かに助けられ、誰かを助ける社会の実現を構

想っています。

「人材紹介や派遣だけに頼っている、人が辞めたらまた探つてという自転車操業になりがちです。施設とゆるく関わってくれる人と数多くつながっておくことが3〜4年後の定着人材につながるという中長期の目線が重要だと思っています。」

全国の福祉系学部を持つ大学と連携。スケッターの仕事に授業単位取得することで、福祉系の学生と介護施設の接点づくりを行っています



運営会社の(株)プラスロボ代表取締役CEO 鈴木亮平さん

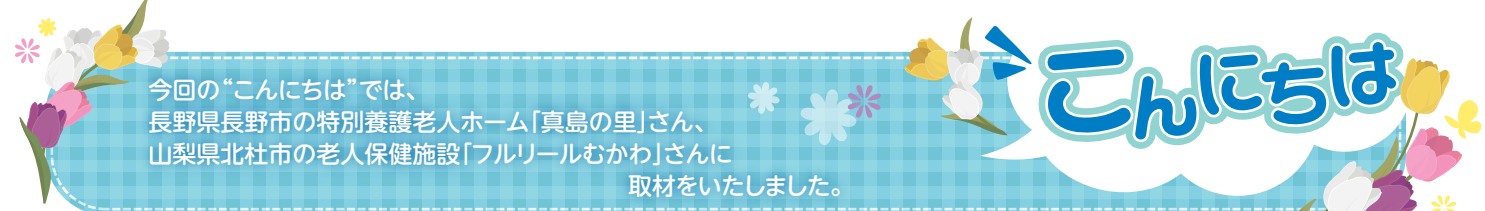
●若者を中心に3千人が登録

スケッターは2019年にサービスを開始。お手伝いを求めている介護事業所が手伝ってほしい仕事(有償)を掲載すると、手伝いたい人(スケッター)が応募するシステムです。事業所はレクリエーションやイベントの手

伝い、傾聴、配膳、事務作業など、資格なしでできる身体介助以外のお手伝い依頼を通じて、地域の人たちが「つながり」を築くことができます。

個人登録者はすでに約3千人に上り、学生や20〜30歳

代が6割を占めます。「介護の仕事に関心はあるが、きっかけや手段がなかった」という人たちが多く、スケッターの経験をきっかけに異業種から転職する人も多く誕生しています。



今回の「こんにちは」では、長野県長野市の特別養護老人ホーム「真島の里」さん、山梨県北杜市の老人保健施設「フルリールむかわ」さんに取材をいたしました。

医療法人燦生会 老人保健施設 フルリールむかわ

甲斐駒ヶ岳や八ヶ岳など、山々に囲まれた山梨県北杜市に平成14年に開設された老人保健施設「フルリールむかわ」さん。山梨県に2施設しかない超強化型老健の1つです。



フルリールむかわのみなさん

「開設当初からリハビリと口腔ケアに重点的に取り組んできました。ですが介護保険報酬改定で施設類型が設定されるという方針が出た際、果たして自分たちは在宅復帰に本気で取り組んでいるだろうかという疑問が出てきて、プロジェクトチームを立ち上げ、超強化型老健を目指しました。それが6年前です」そう語ってくださったのは法人本部の中込室長。基本型から2年かけて超強化型を達成し、現在は安定してそのポジションを維持しておられます。「力のあるものではなく、変わるものだけが生き残る」を合言葉にリハビリスタッフ、相談員、ケアマネを中心に介護職と看護職を加えて「なぜ強化型を目指すのか」というところから始めました。ベッドの回転率、在宅復帰率を見ながら相談部門のインターンで「フルリールは3ヶ月で在宅にお戻りいただく施設である」ことをお伝えするように変えました。方針を大きく転換したことでご家族やご本人から「3ヶ月で出されてしまうのか」というネガティブな反応も多く、始めた当初は入所率が落ちてしまいました。そのような状況下でも現場から「頑張って引き続き取り組みたい」との意思表示があり、経営サイドも痛みを伴うことを受け入れ、プロジェクトを進めていかれたのだそうです。「特養の待機施設のような、それまでの老健の位置付けを変える必要があるということで、1日中何らかの形で体を動かしていただく場所であることを打ち出し、老健を出た後には通所リハビリに移っていただきます。最終的には通所リハビリも卒業していただくこととなります。リハビリを卒業される際には卒業証書を用意して、卒業式を開催しています」リハビリに通ううちに友人ができ、競うようにリハビリをした結果、リハビリが必要なくなり友人と会えなくて寂しいとおっしゃる利用者さんも多いそうです。そこで「卒業」という前向きな表現を使って送り出し、ご自宅に戻られた後も継続してサポートできるようにと、福祉用具貸与と住宅改修事業も始められたのだとか。強化型老健として地域のリハビリ拠点としての位置付けを確固たるものにしていくプロセスが新たな事業の立ち上げにもつながっている注目すべき事例だと思えます。



将来を見据えて

人手不足の対応では、技能実習生の受け入れを7年前から県内で組合を立ち上げるなどして推進しておられます。ミャンマーから3年前に初めて受け入れた後にコロナ禍やミャンマーの政変があり、2年ほど受け入れが難しい状態が続いていましたが、ようやくこの5月に第3期生の受け入れができそうだということです。そのほか歩行訓練機器(HONDAアシスト)や歩行分析ツール(トルト)などの新しい機器・ツールについても、業務改善・科学的介護を進める上で欠かせないと導入されました。結果的にリハビリの効果につながり、口コミによる入所者の獲得という結果が出ているとのことでした。

ホームページにうたわれている「県内随一の設備で充実したリハビリ」というメッセージには誇張するところがなく、それどころか今後もさらに強化していこうという強い思いを感じました。

社会福祉法人 長野南福祉会 特別養護老人ホーム 真島の里

自立支援介護に取り組み始めて4年目になる「真島の里」さん。自立支援介護への取り組みを始めるにあたって見学に行った施設で「自立支援介護に取り組むなら」と白十字をご紹介いただいたのがきっかけで、お付き合いが始まりました。取材にご参加くださったのは山田所長、長岡看護主任、小林介護主任、山崎介護副主任、機能訓練士の近藤さん、管理栄養士の小林さん、相談員の関さんの7名。まさに多職種連携の取材対応です。「国の方針が今後は自立支援だということで、真島の里でも取り組んでいこうということになり、東京や秋田の施設を見学に行きました。そちらの施設では椅子で食事をしたり、経管栄養から常食に移行する取り組みなど、真島の里との違いが大きく衝撃を受けたのを覚えています。それまではお世話型と言われる昔ながらのケアでしたので「取り組む意義は理解しつつも職員の意識を大きく変える必要があると感じ、不安から反対の意見も出たそうです。「成果が出るまでには3年くらいかかりました。その間、納得がいらず辞める方も出ましたが、歩けるようになる方が始めて日中のトイレ誘導がうまくいくようになると徐々に皆の意識も変わっていききました」排泄ケアではこれまで1日5回ほどおむつ交換をしていたところを、白十字のサルパおしりぱりパンツを使ってトイレでの排泄に変えました。常食化についても多職種連携で取り組み、月に1回ほど自分で食べたいものを作って食べていただく機会を設けています。「好きなものですから何より食べる意欲につながります。長野らしく『おやき』を食べたいという声が出ることも多いです。作ることができない方の場合でも、においが食欲をそそる働きがあります」歩けるようになってトイレに行けるようになり、美味しいものを食べられるようになる、その成果が職員の意識を変えていったそうです。



真島の里のみなさん

DXの推進と業務改善

「真島の里」さんを訪ねると、フロアのスタッフが皆インカムをつけているのが目に止まります。1年半ほど前から導入し、緊急時の対応などがスムーズに行えるようになりました。それと合わせてタブレットを使った情報共有も行なっておられます。「例えば転倒があった場合など、現場の写真をすぐ皆に共有することができます。食事・排泄・水分・歩行距離と頻度などのデータについても、それまでは一旦メモを取って後で入力していた手間が省け、業務改善につながっています。ツールはLINE WORKSを使っています」こうした新しいツールの導入についても積極的に他施設へ見学に行き、比較検討をして取り入れているそうです。それ以外にも洗身の効率化につながる「ピュアット」という装置、見守りのためのセンサー「見守りライフ」なども取り入れ、ケアの効果化と効率化を共に見据えた業務改善を計画中です。新しい仕組みやツールの導入は効果が期待できる一方で、相応の手間がかかるものです。その手間をいとわず迷わずチャレンジをしていかれる皆さんの前向きな姿勢にとっても励まされました。

機器やツールの導入以外にも、利用者さんから一目でわかるようにとユニフォームを職種ごとに変えられたそうです。その結果、制服を着ることがその職種のプロとしての意識づけにもつながったとのことで、変化が生み出す効果の大きさを感じました。

※イラストはサルバフレースケア ナイトロングです。

サルバ 尿とりパッド フレースケア

消臭
弱酸性
抗菌
pHコントロールバルブ
※肌側に近いバルブ



装着性・位置の合わせやすさ・視認性を高めたあて方らくらく設計がモレを防ぎます。



デイロング
28cm×58cm

ナイトロング
28cm×64cm

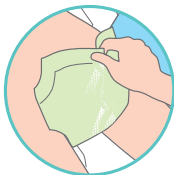
スーパーロング
28cm×64cm

ストロング
28cm×64cm

パッド装着ミスによる
モレを防ぐ

カンタン装着つまみ

先端部分のつまみをもってあてることによってモレの防止につながります。



尿が肌をつたう不快感を軽減する
地下水路機能

流れる便をしっかりとキープする
便キャッチスペース

パッドの前後が一目でわかる

デザインバックシート



男性器を包み込む
立体カップ構造

ムレを防ぐ
全面通気シート

横モレをブロック
サイド包み込み形状

気になる臭いも安心※
吸収ポリマー

※アンモニアに対して

New

そけい部にぴったりあてて
モレ防止

青色立体ギャザー

青色立体ギャザーが位置合わせやそけい部にあてる目印になります。



装着性

あてる際にそけい部の内側に立体ギャザーがきちんとフィットしていることが確認できます。



従来品



リニューアル品

位置合わせ

中心がわかりやすく、尿道口にぴったりフィット！モレの軽減につながります。



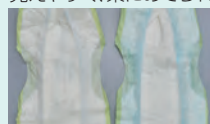
曲がってあてられている



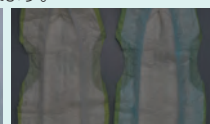
正しくあてられている

視認性

夜間の交換時や白内障の方でもギャザーの位置が見えやすく、楽にあてられます。



日中・通常の見え方



夜間の見え方

※左側:従来品 右側:リニューアル品

編集部より

コロナ禍を背景にして強制力が働いた影響もあるのでしょうか。それまであまり進んでいなかったデジタル化が一気に進んだ、というお話は医療・介護の現場に限らず聞くことが多いこの頃です。取材でもICTの活用や最新機器・システムをうまく取り入れているお話をうかがっていますが、それらの事例は大半がコロナの前から進めて来られたものです。コロナ禍において始めたデジタル化についても、効果が出てくるまでには少し時間がかかるのではないのでしょうか。

そう考えれば「LIFEにデータは入力しているけれどフィードバックデータが…」という、最近よく聞かれるお声についても「継続すること」が結果につながると信じて取り組むのがいちばんの近道、と言えるのかもしれない。

お問い合わせ
お便りは

白十字株式会社
「D-wing」編集部まで

〒171-8552 東京都豊島区高田3-23-12

